

12月に入り、秋も終わり冬の風を感じるようになりました。体育大会に始まり、小松高祭、ウォークラリーと行事が続いた2学期もあとわずかです。冬季休業は、夏季よりも短く、「師走」の言葉通り、年末年始で忙しく過ぎていくと思います。落ち着いて読書をする時間を確保することは難しいかもしれませんが、冬は家にいる時間が夏よりも長くなると言われているので、少しでも読書につながる時間にしてほしいです。



## 後期図書委員より



小松高祭では、先生方や生徒の皆さんのご協力のおかげで無事古本市を開催することができました。当日は、最近出版された小説や新書がすぐに売れてしまいました。古い本も、地域の方が手に取り、懐かしむように購入していく姿が印象に残りました。

これからも不要になった本があれば、ぜひ図書委員までご連絡ください。有効活用する方法を考えていきたいと思っております。

地域の方々や、保護者の方、そして生徒の皆さんに計44冊購入していただき得た収益、440円は、「赤い羽根共同募金」に寄付いたします。ご協力ありがとうございました。

また、11月17日に開催したビブリオバトルについて、積極的なご参加ありがとうございました。これをきっかけに、図書室に足を運び、読書に親しむようになっていただけると嬉しいです。

## 子供の読書キャンペーン



全国学校図書館協議会による令和4年度学校読書調査によれば、「不読率(1か月に1冊も本を読まない)」は、小学生6.4%、中学生18.6%、高校生51.1%となっており、高校生の不読率が最も高い結果となっています。高校生になると、授業の科目数が増えて学校の勉強が大変になったり、中学生より部活動が盛んになったり、または行動範囲が広がりボランティア

活動に積極的に参加するようになったり、生活が忙しくなることも理由と考えられています。また、よりネガティブな理由としては、スマートフォンの所持率が挙げられます。中学生までは約70%の所持率が、高校生になると98%となり、ほぼすべての高校生がスマートフォンを所持していることとなります。スマートフォンで、電子書籍を読む割合は非常に少ないというデータもあります。

そんな中、中高生に向けて、文部科学省では「子供読書キャンペーン」と銘打ち、多様な業界の著名人によるおすすめ本を紹介しています。

俳優の上白石萌音さん、狂言師の野村萬齋さん、芸人の古坂大魔王さん、ウェイトリフティングでオリンピックに出場した三宅宏実さん、など他にも芸人やスポーツ選手のおすすめ本を紹介しています。

ぜひ、右のQRコードで特設サイトにアクセスしてみてください。



## 私の愛読書

今年度、本校に新しく赴任された先生方から、愛読書を紹介していただきます。

☆☆ 石飛 敦美 先生より ☆☆ 『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ』 Jam 著



突然ですが、みなさんは、人間関係や、将来のこと、あるいは SNS  
の中で、モヤモヤしていることはありませんか？

この本には、日常生活で、誰もが抱えるモヤモヤとうまく付き合  
い、解消するためのヒントがたくさん書かれています。あなたが、  
嫌な人のことを考えて、落ち込んでいるというのに、あなたを悩ま  
せている、そいつは、何事もなかったように平然と生活を送ってい  
るかもしれません。

人間関係の嫌なことに縛られ続けているのは、自分の心が疲労す  
るばかりで良いことは何もありません。「どうせあいつ、『今ごろパ

フェとか食ってるよ。』とつぶやいてみませんか。すると、自然と心が軽くなり、嫌な人のことを考  
えることが、バカバカしく思えてきそうです。心が疲れた時に、おすすめの一冊です！

☆☆ 林 格男 先生より ☆☆ 『一死大罪を謝す』 角田 房子 著



1945年8月15日、自決を遂げた時の陸軍大臣、阿南惟幾（あなみ  
これちか）。本土決戦を叫ぶ陸軍をまとめ、戦争終結に至るまでの息詰  
まるドラマと、阿南の人物像を描いた作品です。

全国民が敗戦を知る「玉音放送」が行われるまでに、日本で何が起こ  
っていたのか。現代の日本で暮らす私たちが知っておくべき内容だと思  
います。何より、終戦に影で尽力した阿南惟幾という人物の魅力を  
皆さんに知っていただきたいです！

是非、読んでみてください！

